金子晴勇［著］（ヨーロッパ思想史）［全 7 巻別巻 2］

ヨベル新書　090

キリスト教思想史の諸時代 別巻 1

アウグスティヌスの霊性思想　［第 8 回配本］

2023 年 8 月 15 日刊行予定

新書判・256 頁・1,320 円（税込）
本体 1,200 円＋税 ISBN978-4-909871-48-0 C0216

「不安な心」に呻吟し、あの「ミラノの回心」を経て、最も著名な教父の一人となったアウグスティヌスをキリスト教霊性の先駆者として捉え、その全体像に肉迫！

このように被造物に創造の初めから与えられている根源的な対向性は「あなたのうちに (in te) 憩うまで安らぎを得ない」とあるように、その目標とするところは神の内にある平安である。この平安に至るまでの状態は「わたしたちの心は不安に駆られる」と説明される。（本書より）

《主な目次》

序論　霊性思想史におけるアウグスティヌスの意義
第 1 章「心の対向性」としての霊性思想
①霊性は「神への対向性」である／②「不安な心」の意義／③プラトン主義の神秘体験／④ミラノの回心物語
第 2 章　『告白録』の霊性
①「心の不安」としても霊性／②キケロによる知的な回心／③プラトン主義の神秘的体験／④ミラノにおける回心
第 3 章　神への超越と霊性機能
①霊性の超越機能／②聖なる愛と霊性活動／③「神の像」と「神の似姿」
第 4 章　神の観照から霊性の育成
①司牧活動から来る精神的変化／②享受と使用における霊性機能
第 5 章　聖霊の受容機能としての霊性
①『霊と文字』における生かす霊／②アウグスティヌス祈りとペラギウスの批判／③「アウグスティヌスの祈り」の解釈／④第 2 の祈りと協働を志向する意志
第 6 章　霊性の創造作用としての愛
①「愛によって働く信仰」の意義／②愛の命法と倫理／③結婚の三つの善と神律倫理／④ペラギウス論駁書における霊性機能
第 7 章　霊的人間と霊化する恩恵
①人間の自己理解の深化／②恩恵の先行性と信仰／③人間の類的理解による内的人間と霊的人間／④ローマ書第 7 章の解釈／⑤恩恵論の完成した図式／⑥恩恵による自由の発展
第 8 章　『神の国』における霊性
①人間学の完成された図式／②霊的な人間の完成した姿／③霊的な身体の理解
第 9 章　説教集における霊性
①『説教集』159 における霊的感覚／②『詩編講解』の霊性思想／③『ヨハネ福音書講解説教』の霊性思想
第 10 章　『書簡集』における霊性
① 謙虚と霊性（書簡 118 の研究）／② 霊性と神の直視（書簡 147 の研究）／③ 神の現臨（書簡 187 の研究）
あとがき
書評再録（評者：阿部善彦氏）

全巻構成（赤文字は既刊　各巻　新書判・平均 272 頁・1,320 円税込）

- Ⅰ　ヨーロッパ精神の源流　［好評既刊　再版］
- Ⅱ　アウグスティヌスの思想世界　［好評既刊　在庫僅少］
- Ⅲ　ヨーロッパ中世の思想家たち　［好評既刊］
- Ⅳ　エラスムスと教養世界　［好評既刊］
- Ⅴ　ルターの思索　［好評既刊］
- Ⅵ　宗教改革と近代思想　［好評既刊］
- Ⅶ　現代思想との対決　［好評既刊］
- 別巻 1　アウグスティヌスの霊性思想　［第 8 回配本］
- 別巻 2　アウグスティヌス『三位一体論』の研究　［第 9 回配本　2023 年 12 月予定］

著者紹介　金子晴勇（かねこ・はるお）

1932 年静岡生まれ。1962 年京都大学大学院博士課程中退。67 年立教大学助教授、75 年『ルターの人間学』で京大文学博士、76 年同書で日本学士院賞受賞。82 年岡山大学教授、1990 年静岡大学教授、1995 年聖学院大学客員教授。2010 年退官。　主な著書：『ルターの人間学』（1975）『アウグスティヌスの人間学』（1982）、『ヨーロッパ人間学の歴史』（2008）、『エラスムスの人間学』（2011）、『アウグスティヌスの知恵』（2012）、『知恵の探求とは何か』（2013）、『キリスト教人間学』（2020）、**『私たちの信仰』**（2020）、『人文学の学び方』（2020）、『ヨーロッパ思想史』（2021）、**『東西の霊性思想』**（2021²）、ほか多数　主な訳書：アウグスティヌス著作集 第 9 巻（1979）、ルター『生と死の講話』（2007）、ルター『神学討論集』（2010）、エラスムス『格言選集』（2015）、C. N. コックレン『キリスト教と古典文化』（2018）、エラスムス『対話集』（2019）ほか多数　**太文字**は小社刊行

ヨベル　YOBEL Inc.　〒 113-0033　東京都文京区本郷 4 - 1 - 1　T 03-3818-4851　F 03-3818-4858　http://www.yobel.co.jp